

技術・家庭 (技術分野)

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東書◆	技術 701	A B 306	令和2年
6	教育図書	教図◆	技術 702・703	A 4 変形 344	
9	開隆堂出版	開隆堂◆	技術 704	A B 302	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

校種		聴覚障害特別支援学校	肢体不自由・病弱特別支援学校	
観点	生徒の実態	・両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上で、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度である。	・肢体不自由の状態が、補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度である。 ・慢性の疾患等の状態が、継続して医療又は生活規制を必要とする程度である。	
	内容の取扱い等	1 障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について	①視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。 ②生活経験を広げるような学習活動を紹介しているもの。	①上肢の操作を伴うものであっても、教材や補助的手段等を活用して、実際に学習しやすい活動があるもの。 ②経験不足を補えるように、生活に結び付いた学習活動が示されているもの。 ③肢体不自由や病弱の理解にかかわる記述があるもの。
		2 障害への配慮を要する内容等について	①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	①上肢の操作を伴うため、道具等を扱う学習活動に困難が想定されるもの。 ②安全への配慮から、道具等の取扱いに困難が想定されるもの。 ③アレルギー疾患等にかかわる配慮が必要なもの。
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他	①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②写真、図表等で視覚的に示されているもの。	

発行者		東書	教図	開隆堂
内容区分のページ数	A 材料と加工の技術	70	78	74
	B 生物育成の技術	50	50	46
	C エネルギー変換の技術	60	68	54
	D 情報の技術	66	92	72
	生活や社会を支える技術に関するページ数	88	81	119
	技術による問題の解決に関するページ数	120	183	103
	社会の発展と技術に関するページ数	38	24	24
	実践的・体験的な活動に関する内容を取り上げている箇所数	39	36	26
	安全・衛生に関する事項を取り上げている箇所数	27	45	23
	勤労観・職業観に関する内容を取り上げている箇所数	19	12	7
	持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元及び項目数	9	5	11
	発展的な内容を取り上げている箇所数	0	2	2
	内容	1 聴覚障害の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。 ②生活経験を広げるような学習活動を紹介しているもの。	16箇所 ①「電気回路について考えよう」では、電気回路をつくり、スイッチや可変抵抗器を操作して変化を観察する活動がある。(P148) ②「材料と加工の技術の工夫を読み取ろう」では、ペットボトルの材料や加工、構造について考える活動がある。(P36)	21箇所 ①「材料の特性を調べよう」では、電子顕微鏡で見たそれぞれの材料の写真を見比べる活動がある。(P21) ②「電気に関する技術を知ろう」では、身の回りのモーターが使われている製品について調べる活動がある。(P128)
2 聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。		5箇所 ①「安全に利用するための情報モラル」では、イヤホンを用いて動画や音楽を視聴する事活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P209)	8箇所 ①「情報通信ネットワークのしくみを知ろう」では、糸電話を作って3人で会話をする活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P196)	9箇所 ①「双方向性にあるコンテンツによる問題解決」では、実習例として英単語の発音チェックアプリを作る活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P246)
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	10.5ポイント	11ポイント	10ポイント
	1ページの基本的な文字数	27文字×11行	25文字×13行	29文字×13行
	欄外の文字の大きさ	8.5ポイント	9ポイント	7ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①「作業手順を考えて製作しよう」では、けがきや切断などの作業について、写真で示している。(P50-51)	①「計画に沿って作物を栽培しよう」では、ミニマトの栽培の仕方について、見開き2ページで手順やポイントを写真や図で示している。(P102-103)	①「材料取りと部品加工」では、金属やプラスチックを切断する際の動作のポイントを、写真や図で示している。(P81)
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	一次エネルギーや再生可能エネルギーの扱い	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

発行者		東書	教図	開隆堂
内容区分のページ数と割合	A 材料と加工の技術	70	78	74
	B 生物育成の技術	50	50	46
	C エネルギー変換の技術	60	68	54
	D 情報の技術	66	92	72
生活や社会を支える技術に関するページ数		88	81	119
技術による問題の解決に関するページ数		120	183	103
社会の発展と技術に関するページ数		38	24	24
実践的・体験的な活動に関する内容を取り上げている箇所数		39	36	26
安全・衛生に関する事項を取り上げている箇所数		27	45	23
勤労観・職業観に関する内容を取り上げている箇所数		19	12	7
持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元及び項目数		9	5	11
発展的な内容を取り上げている箇所数		0	2	2
内容	1 肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について	47箇所	51箇所	52箇所
	①上肢の操作を伴うものであっても、教材や補助的手段等を活用して、実際に学習しやすい活動があるもの。 ②経験不足を補えるように、生活に結び付いた学習活動が示されているもの。 ③肢体不自由や病弱の理解にかかわる記述があるもの	①「製作品を構想し、設計しよう」では、斜眼紙に製図を描く例の他に、3D-CADソフトウェアを用いる方法を示している。(P44-45) ②「身の回りの材料と加工の技術」では、学校の机や椅子などの技術の工夫を見つける活動がある。(P21) ③「これからの材料と加工の技術」では、資料として、スポーツ用義足の仕組みや義肢装具士の仕事を紹介している。(P82)	①「生物育成の計画を立てよう」では、栽培に必要な情報についてインターネットで調べる活動がある。(P94) ②「材料の技術と加工の技術を見つけよう」では、弁当箱などの身の回りの製品について材料や加工の技術について考える活動がある。(P12-13) ③「社会の発達と情報の技術」では、障害や介護に役立つ情報の技術の例として、視線で文字を入力する装置を紹介している。(P264)	①「製図」では、図面に描く活動の他に3D-CADソフトウェアを用いる方法を示している。(P43) ②「身の回りにおける情報の技術」では、SNSやロボット掃除機など、情報の技術を利用した機器やサービスの機能について考える活動がある。(P198-199) ③「メディアを利用した情報の表現」では、ピクトグラムの例として車いすの国際シンボルマークを示している。(P220)
内容	2 肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について	37箇所	57箇所	42箇所
	①上肢の操作を伴うため、道具等を扱う学習活動に困難が想定されるもの。 ②安全への配慮から、道具等の取扱いに困難が想定されるもの。 ③アレルギー疾患等にかかわる配慮が必要なもの。	①「情報のデジタル化」では、鉛筆でマス目を塗りつぶす活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P202) ②「作業手順を考えて製作しよう」では、基礎的な技能の確認として卓上ボール盤で穴をあける活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P60) ③「成長段階に合わせて適切に育成しよう」では、ラッカセイの栽培例が示しており、アレルギーへの配慮が必要である。(P122)	①「図や表を読み取ろう」では、等角図や第三角法による正投影図で立体を描く活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P46-47) ②「つくってみよう」では、のこぎりで木材を切断する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P28-29) ③「計画に沿って作物を栽培しよう」では、ミニトマトの栽培において土に触れる活動があり、アレルギーへの配慮が必要である。(P102-103)	①「金属の材料と加工の技術」では、金属の性質を調べる実験として、針金の中央部を繰り返して曲げる活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P34) ②「材料取りと部品加工」では、のみで溝を掘る活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P76) ③「生物育成の計画の立て方」では、ミニトマトの栽培において土に触れる活動があり、アレルギーへの配慮が必要である。(P120-121)
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	10.5ポイント	11ポイント	10ポイント
	1ページの基本的な文字数	27文字11行	25文字×13行	27文字×11行
	欄外の文字の大きさ	8.5ポイント	9ポイント	7ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
障害の状態に応じた事項、その他	①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。	①各節の冒頭に、学習の目標とキーワードを枠囲みで示している。(P20など)	①各項目の最後に、「ふり返るとして、学習の確認事項を示している。(P23など)	①各節の冒頭に、「調べてみよう」として、学習のポイントを枠囲みで示している。(P22など)
	②写真、図表等で視覚的に示されているもの。	②「エネルギー変換の技術」の章の扉のページでは、燃料電池自動車など、テーマに関連する写真を見開きで示している。(P138-139)	②「設計に沿った双方向性のあるコンテンツを制作しよう」では、PTAバザーの案内マップのプログラミングについて、操作画面を図で示している。(P234)	②「問題解決の流れ」では、問題の発見から成果の評価と改善に至る流れについて、写真や図で示している。(P45)
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	一次エネルギーや再生可能エネルギーの扱い	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

